



すばらしいみやぎを創る協議会

《4つの県民運動》

1. 安全で安心なまちを創る運動
2. 心の通い合う地域を創る運動
3. 美しい生活環境を創る運動
4. 地域文化を大切にする運動

2018. 3 vol.63

## みやぎ花のあるまち コンクール

花づくりや緑の育成を奨励することにより、「ふれあい」と「思いやり」のある人づくり・地域づくり、そして、美しいふるさと『みやぎ』づくりを推進するため、「みやぎ花のあるまちコンクール」を実施しています。

今年度は17件の応募があり、審査の結果、次の団体が入賞しました。  
おめでとうございます!!



**最優秀賞** 崎浜長命クラブ(気仙沼市)

**優秀賞**



鷹巣花と緑の会(白石市)

**優秀賞**



東南町行政区花の会(角田市)



表紙:みやぎ花のあるまちコンクール受賞作品の紹介

- すばらしいみやぎを創る運動功績者の紹介(個人) …… 2
- すばらしいみやぎを創る運動功績者の紹介(団体) …… 3
- すばらしいみやぎを創る協議会の事業紹介 …… 4・5
- 犯罪のないみやぎ安全・安心まちづくり県民運動 …… 6
- 宮城県生活学校連絡協議会の事業紹介 …… 7
- コミュニティ助成団体の紹介 …… 7

裏表紙:あなたのまちのコミュニティづくり

**審査員特別賞**

藤尾三区花の会(角田市)



「高森花植えネットワーク」  
連絡協議会  
(仙台市)



上郡山自治会館運営委員会(白石市)



このゆびとまれプロジェクト(白石市)



平成29年度すばらしいみやぎを創る運動功績者 【個人の部】受賞者紹介

～地域住民と行政機関との架け橋に～

安倍 優 氏 (大崎市)

安倍 優(あんぱい すぐる)氏の紹介

平成17年から沖地区振興会会長として地域づくりに携わったことがきっかけで、大崎市合併によって平成19年に設立された「池月地域づくり委員会」の初代会長を務め、市内でも活動が活発な池月地区の地域づくりにご活躍されております。



【県民運動】  
「心の通い合う地域を創る運動」  
「安全で安心なまちを創る運動」  
「地域文化を大切に作る運動」の活動

平成26年から3年間、池月小学校で講演を行ったときの様子。38年間務めた消防士としての仕事への思いや地域づくりの取組など通じて、子どものときから大きな夢や目標を持って頑張ることが将来に繋がることを伝えています。

図ることができ、各団体の事務局機能の改善につながりました。

安倍 優 様にお話を伺いました

ワークショップの開催により地域課題を明確に!

平成19年に「池月地域づくり委員会」が設立し、池月地区の地域づくりを見直す手段として、「地域課題」をテーマとしたワークショップ(話し合い)を12回開催しました。そこで浮かび上がった問題点について、参加者全員で投票し、順位づけしたところ、「各団体の役員を重複し負担が大きい。」「各団体の事務局機能が弱体化している。」「運動会に防災訓練を兼ねて実施してはどうか。」等の地域で見直すべき課題が明確になりました。

その当時、事務局を担当した大崎市職員の協力もあり、各団体の総会を同日に同会場で開催するように工夫したことで各団体役員の負担を軽減したり、平成22年には「池月サポートセンター」が設置され、各団体が年会費等を支払うことで、地域共通の事務局として運営ができる体制となりました。この体制により事務作業の効率化を

学校と地域がひとつになる防災大運動会

平成22年から学校・地域共同の運動会に防災訓練を併せて行うことで、各団体役員の負担軽減を図りました。防災大運動会では、朝7時の花火を合図に大地震の発生を想定し、全戸の安否確認を行うほか、「火事だー!」「逃げろ!」と叫ぶ大声競争では、騒音測定器で測定して順位付けするので、参加者は声をからすほど本気で取り組んでいる姿が印象的です。炊き出し訓練では婦人防火クラブの会員や地域の方々が協力して豚汁やカレーライス等を作ってください、スポーツで汗を流した後に地域みんなで囲む昼食は交流の場となっています。

【県民運動】  
「安全で安心なまちを創る運動」  
「美しい生活環境を創る運動」  
「心の通い合う地域を創る運動」  
「地域文化を大切に作る運動」の活動

平成29年度すばらしいみやぎを創る運動功績者 【個人の部】受賞者紹介

～地域と繋がる活動を生きがいに～

高橋 愛子 氏 (仙台市)

高橋 愛子氏の紹介

約30年前に仙台市内の団地へ転居し、「自分が住む地域で知り合いを増やしたい。」と思ったことがきっかけで貸出文庫のボランティア活動を始められました。その後平成13年から身近な地域課題の解決に取り組む「仙台市人來田生活学校」の会員として活動するほか、中学校防犯ボランティアや老人クラブでの植栽活動等に励み、地域と連携した活動を長年取り組まれています。



高橋 愛子 様にお話を伺いました

生活学校の存続危機を振り返って

平成23年に仙台市人來田生活学校の代表が突然亡くなり、後継者がなかなか決まらず、存続の危機となったことがありました。今後の方向性を決める臨時総会で「このまま解散するのは亡くなった代表に申し訳ない。みんなで頑張ろう!」と発言したところ、会員の方々が次期代表者になってもらえないかと説得され、団体を存続させたい一心で引き受けることにしました。あれから6年が経ち振り返ると、代表を引き受けて良かったと心から思います。例えば、コミュニティセンターの運営市民委員を委嘱されたことにより、イベントの準備をお手伝いするうちに地域の方と親しくなり、次第に顔なじみが増えていき、地域活動を円滑に進めることができるようになりました。また、会員同士の結束が強くなり、活動に参加できない人の分まで自ら補い合おうとする姿が見られたり、活動に賛同してくれた地域の方

地域のお祭りで「ひとりの手」を合唱している様子。歌詞の中に「ひとりの小さな手 なにもできないけど、みんなの手と手をあわせれば何かできる」とあるように、地域の人々が手を繋いで支え合って生きよう!と歌を通じてアピールしました。

が新たに9名も会員になってくれたことがとても嬉しかったです。

おしゃべりサロンの活動

小学校の空き教室を利用した「おしゃべりサロン」は、「地域の方々の交流の場」を提供する仙台市人來田生活学校の活動です。おしゃべりサロンでは、歌に合わせて体を動かしたり、漢字を組み合わせて四字熟語にするクイズを出題したり、お正月には目隠しをして福笑いを行うなど参加者が楽しめる内容を盛り込んでいます。参加している高齢者や障害者等の方からは「知り合いが増える機会になった。」「毎回参加するのを楽しみにしている。」との声をいただき、支援する側の私たちも励まされながら活動しています。

平成29年度すばらしいみやぎを創る運動功績者(個人)／敬称略

加藤 博(色麻町)、木下 義雄(涌谷町)、竹中 正徳(大崎市)、名生 東右(登米市)

【県民運動】

「心の通い合う地域を創る運動」  
「地域文化を大切に作る運動」の活動

## 平成29年度すばらしいみやぎを創る運動功績者 【団体の部】受賞者紹介

### ～地域に食を通じた健康の輪を広げよう～

#### 多賀城市食生活改善推進員協議会（多賀城市）

##### 多賀城市食生活改善推進員協議会とは

「私たちの健康は私たちの手で」を合い言葉に昭和48年に発足。現在では多賀城市内の15地区において健全な食生活が実践できるよう健康づくりのボランティア活動を行っています。市の育成研修会等で学んだことを各地区で地域住民に伝達する「伝達講習会」の開催をはじめ、年間100件以上の地域行事に積極的に参加協力するなど、食の面から健康づくりにつながる地域活動を展開しています。



「伝達講習会」開催の様子



### 会長 難波 さつ子 様、副会長 阿部 勝子 様、 副会長 鈴木 くに子 様にお話を伺いました



#### 塩分を控えた美味しい料理方法を伝達

私たちの活動は、塩分控えめの料理をより美味しく調理する方法や、バランスのとれた食事を地域に広め、食の面から健康づくりを推進することが大きな役割となっています。

市内15地区で開催している「伝達講習会」に初めて参加された方の中には「味が薄いので料理が美味しくない。」という方もいますが、自分の味付けが標準より濃いことを実感し、通い続けるうちに塩分を控えた薄味に慣れていく参加者も多いようです。また、腹囲を測定して、内臓脂肪量（肥満）を認識したり、適正体重を計算するなど、食生活改善への意識を高める機会を設けています。

伝達講習会で学んだ知識を活用した料理を家族に振る舞うことが健康づくりへの大切な一歩です。減塩をしながら彩り豊かな料理を食べて、家族みんなで元気に過ごしましょう。

#### 地域のお祭りで減塩を推進!

地域のお祭り「たがじょう市民市」において、塩分0.7%（1リットルに対して塩7g分の塩分濃度）で作った減塩味噌汁を来場者約400名に試飲してもらったところ、「普段飲んでいる味噌汁が濃いことがわかった。」「塩分が少ない分、だしの味が感じられる。」など様々な感想がありました。お祭りには、子どもから年配の方まで幅広い世代が参加されるので、減塩を考えるきっかけになってほしいと思います。



「たがじょう市民市」で減塩味噌汁を来場者に提供しました!

#### 「ロコモ体操」や「歌」を通して健康に

寝たきりを引き起こす運動器の障害「ロコモティブシンドローム」を防ぐため、伝達講習会等ではロコモ体操を実施しています。「死ぬまで元気!」という歌のフレーズに合わせて最後にポーズを決める場面は大変盛り上がりします。また、馴染みのある曲に野菜の歌詞を掛け合わせた「替え歌」を楽しく歌うことで、口を動かして唾液の分泌量を増やす口腔ケアにも取り組んでいます。



ロコモ体操の様子



会員向けの市の育成研修会

#### 活動を通じて健康の輪を広げていきたい

各地区で開催する伝達講習会は、1年間で合計74回実施し、1,297名の参加がありました。（平成28年度実績）。私たちは自分が住む地区で参加者と近い立場で活動しているので、誰でも気軽に参加しやすいのが特徴です。参加者同士の交流を深めながら、地域ぐるみのよりよい食習慣づくりを推進し、「健康の輪」を広げていきたいと思っています。

#### 平成29年度すばらしいみやぎを創る運動功績者（団体）

鬼首神楽保存会（大崎市）、北方地区コミュニティ推進協議会（登米市）、高蔵寺ホタルの里づくり事業推進委員会（角田市）、佐沼地区コミュニティ推進協議会（登米市）多賀城工場地帯連絡協議会（多賀城市）、新田地区コミュニティ推進協議会（登米市）

# TOPICS

## 率先して復興支援活動に取り組む関係団体へ活動費の助成を行いました

【県民運動】  
「美しい生活環境を創る運動」  
「心の通い合う地域を創る運動」の活動

### すばらしい角田を創る協議会 (事務局：角田市教育委員会生涯学習課)

「山元町の復興を願い、花を通じて応援しよう!」をテーマに角田市民ボランティアが山元町深山山麓少年の森に出向き、山元町民と協力して花壇に花の植栽を実施しました。花の寄せ植え作業を通して交流を深め、花のある癒しの空間作りを行いました。



### 学校法人朴沢学園明成高等学校 (事務局：宮城県私立中学高等学校連合会)

津波にて被災した塩竈市野々島の白菜の採種文化の保存活動に取り組み、畑を整備することで、修学旅行で訪れた学生や来島者の体験学習の場として開放し、訪れる方々との交流の場を設けるとともに交流人口の増加に貢献しました。



## 安全・安心まちづくり県民運動を行っている団体に防犯用品の貸与を行いました

【県民運動】  
「安全で安心なまちを創る運動」の活動



岩沼市安全・安心まちづくり懇談会の構成団体である千貫防犯協会では、地域のお祭りで防犯コーナーを設けて啓発活動を行っています。



松島町磯崎地区防犯協会の防犯パトロール隊では、市街地の公園や不審者が出そうな箇所を重点的に巡回しています。

## 平成29年度は、ジャンパー346着と腕章322個を下記13団体に貸与しました



- すばらしい角田を創る協議会
- かわさきっ子応援団
- 名取市防犯協議会
- 岩沼市安全・安心まちづくり懇談会
- すばらしいやまもとを創る協議会
- 大和町防犯協会
- 東松島市まちづくり推進協議会

- 大河原町防犯協会
- 塩竈市防犯協会連合会
- 多賀城市防犯まちづくり推進協議会
- 亘理町防犯協会
- 松島町防犯協会
- 富谷市防犯協会



## 明るく住みよく安全で安心な地域社会をめざして 第51回 すばらしいみやぎを創る運動「県民のつどい」 ～安全・安心まちづくりフォーラム～

県との共催により、今年度で51回を迎えたすばらしいみやぎを創る運動「県民のつどい」を平成29年11月17日にホテルメトロポリタン仙台で開催し、県内各地からまちづくりリーダーや防犯団体関係者など238名が参加しました。冒頭の表彰式では、長年本運動に功績のあった6名・7団体と今年度のみやぎ花のあるまちコンクール入賞団体に表彰状と記念品を贈り、その栄誉を称えました。

活動紹介では、「子どもの居場所作りと地域ボランティア」と題して、特定非営利活動法人にじいろクレヨン理事長の柴田滋紀様から、被災地における子どもを中心としたコミュニティづくりの活動についてお話をいただきました。実際に被災され、子どもに目を向ける余裕がない環境を目の当たりにしたことから、避難所、仮

設住宅、災害公営住宅等においてお絵かき教室や遊びなどを通じて、子どもが「自分らしくいられる場所づくり」を発信し、地域の人々を巻き込んだ子ども支援活動の事例をご紹介いただきました。

引き続き行われた記念講演では、「知っておきたい！地域防犯パトロールの意外な落とし穴」と題して一般社団法人日本防犯学校学長の梅本正行様からご講演をいただきました。犯罪者が最も嫌がることは「顔を見られて声をかけられること」であることから、防犯パトロールでは「声かけ運動」を積極的に行うことが何よりの防衛になることや、学生を巻き込んだ活動の推進、マンション内の駐車場が意外にも被害が多発する場所であること等をお教えいただきました。



鎌田会長より受賞者に表彰状を授与



特定非営利活動法人にじいろクレヨン理事長 柴田滋紀様の活動紹介



一般社団法人日本防犯学校学長 梅本正行様の記念講演

## 地域づくりに取り組む推進委員の資質向上を図る 平成29年度すばらしいみやぎを創る運動推進委員研修会

地域づくりに取り組む推進委員の資質向上を図るため、平成29年8月24日に宮城県大河原合同庁舎で、平成29年8月29日に登米市中田農村環境改善センターで「すばらしいみやぎを創る運動推進委員研修会」を開催し、推進委員やまちづくり関係者など93名が参加しました。

### ●研修会【8月24日開催】

- 発表1 一般社団法人 ReRoots 代表 広瀬剛史 様  
テーマ「若者による農業再生と地域おこし」
- 発表2 特定非営利活動法人 Switch 事務局長 今野純太郎 様  
テーマ「だれもが共生できる社会を目指して」～「まなぶ」  
「はたらく」からはじまる地域づくり～

### ●研修会【8月29日開催】

- 発表1 特定非営利活動法人移動支援 Rera 代表 村島弘子 様  
テーマ「“行きたいところに行けるまち”は“ずっと暮らせるまち”」
- 発表2 一般社団法人 ISHINOMAKI2.0 代表理事 松村豪太 様  
テーマ「被災地発の新しいまちづくりモデル～『参加』による創造的な地域づくり」



大河原町で開催した研修会の様子



登米市で開催した研修会の様子



# 犯罪のないみやぎ 安全・安心まちづくり県民運動

宮城県では、犯罪のない安全・安心な地域社会の実現を目指した県民運動を推進しています。

安全に安心して暮らすためには、行政や警察の活動に加え、県民の皆さんが、「自らの安全は自らが守る」、「地域の安全は地域で守る」という意識をもってまちづくりに取り組むことが重要です。

県民の皆さん一人ひとりが手を取り合い、協力して、安全・安心まちづくり県民運動を進めていきましょう。

## 「犯罪のないみやぎ安全・安心 まちづくり活動リーダー養成講座」 を開催しました。

本講座は、立正大学の小宮信夫教授をお招きし、「犯罪機会論」や「地域安全マップ」に関する講義の後に、参加者による、まち歩きとマップ作りを行います。

「犯罪が発生しやすい場所」を判断するための視点が養われました。

※当講座は、宮城県と市町村の共催により開催していません。開催を希望される場合は、お住まいの市町村にお問い合わせ下さい。

まち歩き(フィールドワーク)の様子



安全マップ作成の様子

## 防犯の専門家派遣事業を 実施しました！

各地区の防犯団体や学校等に、防犯の専門家を講師として派遣しました。

今年度は、特殊詐欺や子どもの見守り活動に関するものの他、地域安全マップの作成等、様々な分野の講座を行いました。



効果的なパトロールに関する講座



護身指導員による実技指導

## 「犯罪のないみやぎ安全・安心まちづくり各種防犯指針」 を改定しました！

道路や住宅、学校など、様々な場面で防犯のマニュアルとして活用できる、防犯指針を今年度10年ぶりに改定しました。

日頃の防犯活動に役立つチェックリストもありますので、是非ご活用ください。

宮城県 防犯指針



### 5つのポイント

- 明るさや見通しを確保しましょう。
- 犯罪者が近づけないようにしましょう。
- 被害にあわないよう、防犯意識・防犯力を高めましょう。
- 地域や行政、事業者等と連携して自分のまちを守りましょう。
- 防犯設備を効果的に活用しましょう。

すばらしいみやぎを創る運動を実践している団体「宮城県生活学校連絡協議会」の事業紹介

# 平成29年度生活学校・生活会議運動 東北・北海道ブロック研究集会

平成29年9月20日～21日の2日間、ホテルニュー水戸屋にて「生活学校・生活会議運動東北・北海道ブロック研究集会」が開催され、宮城県をはじめとする生活学校関係者130名が集まり、記念講演や活動発表、意見交換等が行われ、先進的な活動事例の共有や今後の運動のあり方について協議を行いました。

## ◆記念講演◆

講師 ペルソナ研究所 代表 工藤眞季子 様  
演題 「思いやりとおもてなしの心」

## ◆全体討議◆

テーマ 「フードドライブと食品ロス削減の普及・啓発」

## ◆宮城県生活学校連絡協議会の事例発表◆

テーマ 「東日本大震災から6年、現状と課題」

発表者 宮城県生活学校連絡協議会会長 祝前清美 様  
若林区荒浜生活学校委員長 末永利子 様  
栗原市築館生活学校委員長 久我節子 様

## ◆宮城県内生活学校の取組を発表◆

仙台市松陵生活学校委員長 末弘美 様

テーマ 「子ども食堂を通して地域の子育て環境づくりを」



会場の様子



各県生活学校の取組を発表



夕食・交流会の様子



## 宝くじ普及広報事業

「コミュニティ助成事業」で備品を整備した団体紹介

## 加美町 鹿原地区コミュニティ推進協議会

加美町は3町合併により誕生してから、まもなく15年目を迎えます。県北部に位置し、人口約2万4千人弱、高齢化率は約34%と県内でも高い値を示しています。面積の約7割を森林が占め、豊かな自然や米・野菜をはじめとする豊富な食材、温泉や音楽を楽しめる施設、1年を通じて開催される各種イベントでは、四季折々の魅力を体感することができます。町のシンボルでもある「薬菜山」(標高553m)は、子どもの足でも1時間程度で登ることができるため、登山シーズンには家族連れの観光客で賑わいをみせます。その薬菜山のふもとに広がる地域が鹿原(かのほら)と呼ばれ、約680人が生活しています。今回助成をいただいた鹿原地区コミュニティ推進協議会は、地域内の各種団体や住民と協力して、お祭りやスポーツ大会など、年間25回程度のコミュニティ事業を企画・実施している組織です。

今回の助成では、主にキャンプ用品を整備させていただきました。地域内は豊かな自然に恵まれており、子どもたち



キャンプ事業で地域の魅力を満喫!

に自然とふれあう経験をさせたいとの思いから、フィールドキャンプ事業を夏休みに実施しています。さらに、昨年度からは、地域内の「物知りな大人」をゲストに招き、プログラム中に地域を学ぶ機会を取り入れています。自らが生まれ、育ち、生活している地域の成り立ちや歴史を知ること、より一層愛着が増したり、地域内で生産された食材を自ら収穫、調理し、食べることで、地産地消の意味や、安心安全な食材が身近にあることのありがたさがよく理解できると好評です。今年度は、助成により、バーベキュー用鉄板、テント、寝袋、ランタンなどを整備したことで、参加者も増え、例年ない充実したキャンプ事業となりました。

今後も、地域で暮らす住民の輪を大事にしなが、集いと世代間交流の場として、より一層コミュニティ活動を充実してまいります。  
(加美町企画財政課作成)

# あなたのまちの コミュニティづくり



皆さんの地域の町内会や自治会などでは、環境美化などのコミュニティ活動が盛んに実施されていることでしょう。そのような活動の中で、こんな施設や備品があったら、もっと活動が活発になるのにと考えたことはありませんか。

一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの受託事業費を財源とし、市町村を通じて、地域の町内会、自治会の活動への助成を行っています。

## 一般 コミュニティ 助成

地域的な共同活動に必要な施設・設備の整備事業への助成です。

環境美化・文化学習・体育・レクリエーションなど様々な活動で使用する備品が対象となります。



名取市(増田中央町内会)

## コミュニティ センター 助成

地域住民の共同活動の拠点となる多目的な総合施設の整備事業への助成です。

コミュニティセンター新築及び修繕、その施設に必要な備品などが対象となります。



美里町(起谷行政区)

## 青少年 健全育成 助成

青少年の健全育成を目的に地域で実施する親子参加型のソフト事業への助成です。

各種野外活動の実施、スポーツ・レクリエーション大会の開催などが対象となります。



白石市(わんぱく少年教室)

本事業に  
関する  
お問合せは

宮城県環境生活部共同参画社会推進課

電話 022-211-2576

ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/comijyo.html>

または、各市町村コミュニティ担当課までお気軽にお問い合わせください。

(仙台市を除く。)

平成30年3月発行 第63号

発行/すばらしいみやぎを創る協議会

仙台市青葉区本町三丁目8番1号 宮城県環境生活部共同参画社会推進課内

TEL 022 (211) 2576 FAX 022 (211) 2392

※本誌の配布先：各市町村、市民センター、公民館等  
※再生紙を使用しています。